

社会科学習指導案

日 時 令和1年12月20日(金) 第2校時
児 童 越谷市立文教小学校 4年1組 24名
場 所 4年1組教室
授業者 E班
指導者 教諭 吉田正生

1. 単元名「北海道開拓に従事した屯田兵の思い」

2. 単元目標と評価

(1) 目標

当時の北海道の状況や、屯田兵の生活の記録から、そこにある苦勞を知り、それをどんな工夫・努力で乗り切ったのか、また、そこにはどんな思いや願いがあるかを理解し、地域社会に対する誇りと愛情を育てる。

(2) 評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 思考・判断・表現	ウ 観察・資料活用	エ 知識・理解
○北海道開拓に従事した屯田兵の工夫や思い、願いについて関心を持ち、そこにある願いや思いを積極的に考えようとしている。 ○屯田兵の努力を自分たちの生活と結びつけて考えることを通して、地域社会への誇りや愛情を持つようとしている。	○北海道開拓に従事した屯田兵の工夫・努力について学習した内容から、そこにある願いや思い、先人の働きについて考え、それについて図や絵、グラフなどの表現を用いて新聞にまとめ、発表することができる。 ○開拓は、従来からある生態系を破壊し、アイヌの人々の暮らしに悪影響を与えたことに気づき、開発について多角的な見方ができる。	○当時の北海道の様子や、屯田兵の生活にかかわる資料から、自分なりに整理し、工夫して新聞にまとめることができる。 ○屯田兵に関する資料から、必要な情報を正確に読み取ることができる。	○当時の北海道の様子や、屯田兵の生活についてわかる。 ○屯田兵の工夫・努力や、人々の思い・願いについてわかる。

3. 単元について

本単元は、第4学年学習指導要領の「内容(5)ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例」を受けて設定したものである。具体的には開発、教育、文化、産業などの面で地域の発展に尽くした先人の具体的事例のいずれかを取り上げ、地域の発展に対する先人の願いや工夫、努力、苦心、地域の人々の生活が向上したことなどを具体的に取り上げることである。したがって、この単元での学習内容としては北海道の開拓に従事していた屯田兵を取り上げて、開拓に従事する屯田兵の工夫・努力、地域発展への願いや思いを理解することが目標である。

また、本単元では、屯田兵の北海道開拓が、従来からある生態系を壊し、アイヌの人々のくらしに悪影響を与えたという、開拓についての否定的な面も取り上げる。これを通して、開拓は良い面も悪い面もあることを児童に理解させ、児童が多面的なものの見方ができるようにさせる。

さらに、歴史学習において、資料活用という点を重視し、写真資料や文章からの読み取り、そしてそれを自ら整理し、発表する活動を通して、当時の状況や人々の工夫、努力、その中に秘められた思いや願いを、より一層理解することができるという考えから、単元目標とその評価規準を作成した。

日本の食生活を支える米を最も多く生産している北海道、その田園はいつ、誰が開拓したのだろうか。それが屯田兵であることを知る児童は、歴史を学習していない小学4年生で知っている者はそう多くない。しかし、そういった地味でローカル的ともいえる開拓の歴史が今の豊かな大地を支えている、という、下からの歴史、というものを知ることは、歴史学習の進捗如何にかかわらず育成すべき重要な視点である。そして、その開拓の歴史の中にある苦労や、開拓や生産にかかわる工夫・努力、そして人々の思いや願いを知ることで、働く人や先人の工夫・努力に共感的な態度を育て、児童の心を養うものだと考える。そして、下からの歴史、という視点の獲得が、現状の歴史学習の陥っている「政治史的・出来事的」な歴史学習という課題の解決にもつながると思われる。

以上を踏まえた上で、指導計画を設定した。

4. 指導計画（11 時間扱い）

次	時数	主な学習活動	各時間の評価規準
1	1(本時)	北海道は誰が開拓したの？ ・当時の北海道の様子などを手掛かりに、屯田兵の様子や心情、苦労などを考える。	・当時の写真資料から、当時の北海道の様子や屯田兵の心情、苦労などを積極的に考えていたか。(ア 関心・意欲・態度) ・当時の写真資料から、当時の北海道の様子や屯田兵の心情、苦労などを正確に読み取れていたか。(ウ 観察・資料活用)
	2	屯田兵は何のために北海道へ？ ・当時の社会情勢や、武士を取り巻く環境から、屯田兵になった人々の思いを知る。	・当時、未開の北海道に渡った屯田兵の思いを積極的に考えようとしていたか。(ア 関心・意欲・態度) ・屯田兵の制度ができた経緯や時代背景を理解できていたか。(エ 知識・理解)
	3	屯田兵の1日の生活は？ ・当時の屯田兵の生活の資料から、屯田兵の苦労や工夫・努力を学ぶ。	・当時の屯田兵の生活についての資料から、屯田兵の苦労や工夫・努力について正確に読み取れていたか。(ウ 観察・資料活用)
	4	開拓の成果は？ ・現在の統計資料や地図資料から30年にわたる開拓事業の成果・痕跡を知り、地域への誇り・愛着を持つ。	・屯田兵の努力を自分たちの生活と結びつけて考えることを通して、地域社会への誇りや愛情を持つようとしていたか(ア 関心・意欲・態度) ・現在の統計資料や地図資料から、屯田兵の開拓の成果や痕跡について正確に読み取れていたか。(ウ 観察・資料活用)
2	1	屯田兵がお米作りにこだわったわけとは？ ・罰則も顧みず、米作りにこだわった人々の思いや願いを知る。	・屯田兵の米作りに懸ける心情や、思いについて積極的に考える態度を持てているか。 (ア 関心・意欲・態度)
	2	寒い北海道でお米を作るには？ ・寒い地域でも育つ米の品種改良など、米作りに懸ける人々の工夫・努力を理解	・米の品種改良など、米作りに懸ける人々の工夫・努力を理解できているか。(エ 知識・理解)

		する。	
3	1	開拓前と開拓後の北海道をくらべよう ・もとからあった自然や、先住民族のアイヌについて、開拓を否定的な面から見る。	・開拓前と開拓後の北海道の比較から、開発について多元的な見方ができていたか。(イ 思考・判断・表現)
4	1-4	屯田兵の活躍を新聞にして発表しよう	・北海道開拓に従事した屯田兵の工夫・努力について学習した内容から、そこにある願いや思い、先人の働きについて考え、それについて図や絵、グラフなどの表現を用いて新聞にまとめ、発表することができるか。 (イ 思考・判断・表現) ・当時の北海道の様子や、屯田兵の生活にかかわる資料を自分なりに整理し、工夫して新聞にまとめ、発表することができるか。 (ウ 観察・資料活用)

5. 本時の学習 (1/11 時間目)

(1) 本時の目標

写真資料から、当時の北海道の様子や屯田兵の心情、苦労などを積極的に考え、正確に読み取る。

(2) 評価規準

- ・当時の写真資料や動画、グラフから、当時の北海道の様子や屯田兵の心情、苦労などを積極的に考えていたか。(ア 関心・意欲・態度)
- ・当時の写真資料や動画、グラフから、当時の北海道の様子や屯田兵の心情、苦労などを正確に読み取れていたか。(ウ 観察・資料活用)

(3) 準備

ワークシート

黒板に貼る資料<(1)(2)、①～③)

(4) 展開

過程	・教師の指導 ☆発問	・児童の活動 ○児童の発言 ●出ないといひ発言	・指導上の留意点 ★評価 ●出ないといひ発言に対する指導	資料
導入 10分	<p>・カレーの写真を見せ、カレーのルーに入っている具材を質問する。</p> <p>☆「カレーの中にはどんな野菜が入ってますか？」</p> <p>・児童から出た具材を見せる。(じゃがいも、にんじん、玉ねぎ)</p> <p>☆「今みんなから出た野菜のほとんどが、ある都道府県で収穫されています。どの都道府県でしょう？」</p> <p>・資料(1)を提示し、1位が北海道だと気づかせる。</p> <p>☆「どうして1位が北海道なのか予想をたてみよう。」</p> <p>・資料(2)と資料(3)を順番に見せて、開拓する</p>	<p>○「じゃがいも」 ○「にんじん」 ○「玉ねぎ」</p> <p>○「北海道」 ○「埼玉」 ○「新潟」など</p> <p>・資料(1)を見る。</p> <p>○「広いから」 ○「野菜が1位だから」</p> <p>・資料(2)と(3)を見る。</p>	<p>・ヒントとして北海道産の野菜の袋を用意し、共通点に気づかせる。</p>	<p>資料(1) (北海道の農作物のランキング)</p> <p>資料(2) (現在</p>

	<p>前と後の様子の違いに気づかせる。</p> <p>・「今はきれいな田んぼや畑になっているところが、もとは森林だったなんて、想像できないですね。」</p> <p>・「実は 250 年前までは、この写真のように開拓されてなくて、現在のようなきれいな田んぼなどはまだありませんでした。」</p> <p>・資料(4)を提示し、課題につなげる。</p>	<p>○「きれい」</p> <p>○「広い」</p> <p>○「森だ」</p> <p>○「全然違う」</p> <p>○「これが今みたいになるの」</p>	<p>・開拓という言葉を確認しておく。</p>	<p>の北海道の畑風景)</p> <p>資料(3) (開拓する前の北海道)</p> <p>資料(4) (北海道を開拓した人達)</p>
<p>展開 30 分</p>	<p>・環境と道具の二つの面から考えさせる。</p> <p>・ワークシートを配る</p> <p>☆「北海道とここ埼玉の平均気温を比べてみよう。」</p>	<p>・北海道と埼玉の月毎の平均気温が記された表をもとに折れ線グラ</p>	<p>・手の進まない児童については、教員が 1 つお手本を</p>	

北海道の田んぼや畑を開拓した人たちは、どんな思いや願いで開拓したのか考えよう。

<p>☆「グラフをみて気づいたことをグループで発表してみましよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成したグラフをもとに班になって意見を伝え合う。 <p>☆「当時と今はどんな道具を使って畑を耕していたらう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に道具を使用している様子を今と当時の2つとも流す。 ・道具の違いの動画を見せ、大変さをより実感させる。 <p>☆「気候面と道具面から、開拓した人はどのような思いを感じていたらうか。」</p> <p>☆「つらく、苦勞してまで開拓をしようと頑張れたのはなんでらう。」</p>	<p>フを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「北海道の気温は埼玉よりも低い」 ●「埼玉のほうが暖かい」 <ul style="list-style-type: none"> ○「気温が低く、野菜が育たなそう」 ○「今よりも道具が発達していなくて大変そう」 ○「つらそう」 <ul style="list-style-type: none"> ○「家族のため」 ○「生きていくため」 ○「国の発展のため」 	<p>示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本時では北海道の特徴をおさえるのを目的として埼玉と比較していることを理解させる。 ★グラフから北海道の気候面での特徴を正確に読み取れている。(ウ観察・資料の活用) <p>」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦勞して開拓が行われていたことを理解させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・意見が出なそうであれば、資料(4)をもとに家族の存在を伝える。 	
---	--	---	--

			<p>★気候面と道具面から、当時の北海道の様子や屯田兵の心情、苦勞などを正確に読み取れていたか。(ア関心・意欲・態度)</p>	
	<p>北海道を開拓した人は、寒さや道具の質が低い中、家族や国のために苦勞しながら開拓をしていた。</p>			
	<p>「これからの授業ではこの人たちについて勉強していきますが、この北海道で開拓をした人を、『屯田兵』、と言います。」</p>			
<p>まとめ 2分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを書かせる。 ・「今回は、屯田兵はどんなことをしたのか、どうして北海道に来たのかについて、もう少し詳しく勉強します。」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに振り返りを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の連絡と、必要な持ち物の確認をする。 	